

# 「放射能汚染地域での生物調査： 放射能のアブラムシへの影響」



秋元信一さん

北海道大学農学研究院  
教授（昆虫学）

福島第一原発事故後、放射性降下物におおわれた地域では、生物にどのような影響が出ているのか、あるいは出ていないのかを明らかにするために、2012年から毎年、川俣町、飯館村をまわり、生物への影響を調べてきた。今回は、アブラムシ（植物に寄生する小型昆虫）に注目し、小型の生物には、哺乳類とは異なる影響が見られることを示したい。また、現在研究者が汚染地域でどのような調査を進めているのかを紹介しします。



講師  
紹介

あきもと・しんいち 東京生まれ。子供の頃から昆虫が好きで、深く悩むこともなく昆虫学者となる。学生時代から雪虫のグループ（アブラムシ）を対象にして、生態学、系統学、遺伝学、形態学の研究を行い、この経験が福島での調査に結びついた。今でも昆虫の調査に出かけるのが唯一の息抜き。現職は北海道大学農学研究院教授、昆虫体系学が専門。



第23回  
一緒に考えましょう講座

と き：2014年11月22日(土)  
第23回 午後2時～4時

ところ：北海道大学  
スラブ・ユーラシア研究センター  
4階大会議室

(札幌市北区北9条西7丁目 札幌駅  
北口から北大通りを北へ徒歩約5分。  
北大正門から北大構内へ、経済学部  
から入り、法学部2階渡り廊下を渡っ  
てください)



主催／ 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 家田研究室  
お問い合わせ TEL 090-2813-4907 ieda@slav.hokudai.ac.jp  
詳細は家田研究室HPの講座日程をご覧ください <http://lets-think.com>  
共催 北海道の自然と命のネットワーク

# 一緒に 考えましょう講座

この講座は大学と市民をつないで、  
東日本大震災後の日本を  
共に考える公開講座です。  
みなさまのご参加をお待ちしています。

2014年度  
後半の予定

会場 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 4階大会議室

11月22日(土)

第23回 午後2時～4時

秋元信一さん 北海道大学  
農学研究院教授(昆虫学)

「放射能汚染地域での生物調査：  
放射能のアブラムシへの影響」

12月7日(日)

第24回 午後2時～4時

宍戸隆子さん 札幌市内の自主避難者  
コミュニティ・桜会 代表

「札幌の避難者の現状  
～避難から移住へ、その試み～」

トーク  
セッション

広域連携で紡ぐ  
新たなつながり

西山祐子さん 一般社団法人  
みんなの手 代表理事

「京都の広域避難者の3年半を振り返って」

主催／ 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター 家田研究室  
お問い合わせ TEL 090-2813-4907 ieda@slav.hokudai.ac.jp  
詳細は家田研究室HPの講座日程をご覧ください <http://lets-think.com>

共催 北海道の自然と命のネットワーク